

【普通作物】の【強風・大雨】対策について

<6月>

農業経営支援課

【早期水稻】（幼穂形成期～出穂期）

（1）予想される被害状況

- ① 強風による茎葉の損傷や靱擦れが発生する。
- ② 浸・冠水や土砂の流入が発生する。

（2）事前対策

- ① 強風での倒伏や脱水症状の軽減のため、深水管理とする。
※但し、棚田等で畦畔崩壊の恐れのあるほ場は行わない。
- ② 浸・冠水しやすい水田では、溝切りや排水溝の整備を行う。

（3）事後対策

- ① 風が止むまで湛水状態を保つ。
- ② 浸・冠水したところでは、速やかに排水して新しい用水と入れ替える。
- ③ いもち病や白葉枯病の発生に注意し適宜防除する。
- ④ ほ場に飛散したゴミは、作業や機械に支障を及ぼすので早めに除去する。

【普通期水稻】（移植期～分けつ期）

（1）予想される被害状況

- ① 強風による茎葉の損傷が発生する。
- ② 浸・冠水や土砂の流入が発生する。

（2）事前対策

- ① 強風での茎葉の損傷の軽減のため、深水管理とする。
※但し、棚田等で畦畔崩壊の恐れのあるほ場は行わない。
- ② 浸・冠水しやすい水田では、溝切りや排水溝の整備を行う。

（3）事後対策

- ① 風が止むまで湛水状態を保つ。
- ② 浸・冠水したところでは、排水して新しい用水と入れ替える。
- ③ いもち病や白葉枯病、ウンカ類の発生に注意し適宜防除する。
- ④ ほ場に飛散したゴミは、作業や機械に支障を及ぼすので早めに除去する。

【大豆】（播種期～生育初期）

（１）予想される被害状況

- ① 播種後の湿害等による発芽障害が発生する。
- ② 強風での茎葉の損傷や湿害での生育不良が発生する。

（２）事前対策

- ① 浸・冠水等の湿害に備え、溝切りや排水溝の整備を行う。
- ② 中耕・培土の時期にあるほ場では、倒伏軽減のために土寄せする。

（３）事後対策

- ① 浸水や冠水したら速やかに排水し、侵蝕された畦は早めに土寄せする。
- ② 欠株が生じた場合は早めに追播きする。
- ③ 倒伏した株はできるだけ起こして、土寄せする。
- ④ ハスモンヨトウ等の病害虫の発生に注意し、適宜防除する。